

【伊勢崎市】
校務 DX 計画

1. 現状と課題について

校務の DX 化においては、統合型校務支援システムの運用を一本化したことにより、文書の收受や承認にかかわる事務の利便性を向上するとともに、ペーパーレス化も進んだ。

また、教員の ICT 活用指導力の向上については、スーパーバイズ事業による大学教授からの専門的な助言により、各校の ICT を視点とした研修について質的な向上が図られている。さらに、情報セキュリティにおいては、市のセキュリティポリシーを改訂し、各校のセキュリティについて国の方針やより現状に即したものとなるように努めてきた。

現在、以下に示した成果指標においては、令和 6 年度実績値のような現状にある。これまでの成果により、現状値としては、比較的良好な結果であると捉えているが、まだまだ道半ばであるという認識である。そこで、令和 11 年度の目標値を以下のように定め、計画を推進したいと考えている。

今後も、ICT 環境を効果的に活用し、自律的な学び手を育成するため、校務の DX 化を推進していきたいと考えている。

(1) ICT を活用した児童生徒の資質能力の育成について

・生活学習状況調査より（11月実施）

成果指標	現状値 (R6)	目標値 (R11)
○ICT 機器を使うと授業が分かると感じている児童生徒の割合	91.3%	95.0%

(2) ICT を活用した教職員の指導力の向上

・全国学力学習状況調査の結果より

※児童一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器の活用

成果指標	現状値 (R6) 【国平均】	目標値 (R11)
○授業でどの程度活用しましたか ※ほぼ毎日、又は週3回以上の活用	[小] 95.6% 【93.2%】 [中] 100% 【90.8%】	[小] 100% [中] 100%
○自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、どの程度使用させていますか ※ほぼ毎日、又は週3回以上の活用	[小] 65.2% 【55.1%】 [中] 66.6% 【51.9%】	[小] 80% [中] 80%

成果指標	現状値 (R6) 【国平均】	目標値 (R11)
○教職員と調査対象学年の児童生徒がやりとりする場面で、どの程度使用させていますか ※ほぼ毎日、又は週3回以上の活用	[小] 65.2% 【59.7%】 [中] 75.0% 【57.4%】	[小] 80% [中] 90%
○自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面で、どの程度使用させていますか ※ほぼ毎日、又は週3回以上の活用	[小] 65.2% 【52.8%】 [中] 66.7% 【42.2%】	[小] 80% [中] 80%
○どの程度家庭で利用できるようにしていますか ※「毎日持ち帰って毎日利用、 又は毎日持ち帰って時々利用」	[小] 52.2% 【36.2%】 [中] 83.3% 【45.5%】	[小] 65% [中] 80%

(3) ICT 環境の整備

・年度末実績値

成果指標	現状値 (R6)	目標値 (R11)
○電子黒板の整備状況	全普通教室	全普通教室および特別教室用として各校6台
○ICT 支援員の配置状況	月に2～3回	月に4回
○アクティブラーニング教室の整備	無し	全中学校へ整備

(4) 校務における ICT の活用

・「校務支援システムの整備状況」

成果指標	現状値 (R6)	目標値 (R11)
○校務支援システムの整備状況	教育部総務課 教育施設課 学校教育課 全小中学校 生涯学習課 学務課	全教育部を網羅 +全幼稚園 +健康給食課 +文化財保護課

2. 今後について

(1) 校内ネットワークの再構築について

ゼロトラストの考え方に基づくアクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じて校務系と学習系のネットワークを統合し、教職員一人ひとりの事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方ができるよう校務のロケーションフリー化を実現する環境の整備について調査研究を進める。

(2) 校務支援システムのクラウド化について

現在、校務支援システムはオンプレミス型（委託業者データセンター内に設置）で運用しており、教務、保健、学籍、成績管理など校内の幅広い業務で活用している。汎用クラウドツールと連携することによる教職員の負担軽減（FAX・押印の原則廃止、校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一扫等）やコミュニケーションの活発化を図るため、現行校務支援システムの次期更新時（令和8年9月末予定）のクラウド化を目指し、1で整備するネットワーク環境を活用し、群馬県が推進する次世代型校務支援システムの共同調達に参加できるよう調査研究を進める。

(3) 具体的な施策について

上記の課題を解決するために、校務支援の視点から、以下のような施策を展開する。

校務支援	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>校務支援システムのクラウド化（ゼロトラストの推進）<input type="checkbox"/>全校共有フォルダの運用ルールの整理<input type="checkbox"/>学校と保護者間の連絡のオンライン化の充実<input type="checkbox"/>教育委員会と保護者間のオンラインによる直接連絡の実現<input type="checkbox"/>翻訳アプリによる外国籍保護者への連携<input type="checkbox"/>職員室大型モニターの導入<input type="checkbox"/>生成 AI の活用
------	---